



杉戸中央ロータリークラブホームページ <http://www.sugito-chuo.com>

第776回 例会2010. 4. 22

司会 折原会員

点鐘 栗原会長

ロータリーソング それでこそロータリー

四つのテスト唱和 渋谷会員

幹事報告

栗原会長

- 米山記念奨学会より、第 15 回メジャードナー感謝状が新井会員へ、そして第 8 回米山功労クラブの感謝状が当クラブに届いております。
- 若木会員の事業所名変更の案内がきております。新社名は、『株式会社スギデン』です。
- 4/13『友』インターネット速報「ハイチの救援から長期的復興活動へ」より。1/12ハイチを襲った大地震で、30 万人が亡くなり、120 万人が家を失い国内のインフラは壊滅状態となりました。復興を支援するために R 財団が設けた使途推奨冠名基金、ハイチ大地震救援基金には 130 万ドルが集まっています。復旧活動を監督しているハイチ支援グループが現在、長期的な計画を立てていますが、中でも特にニーズが大きいのが、学校の再建設、手や足を失った人への義肢の提供、そして雨季が訪れる前に何千人ものシェルターを確保することです。ハイチの 17 のロータリークラブは、学校を1校でも修築し机、本、文具、そのほかの教材を揃えて開校できる状態にしようと計画中です。



- 川口 RC の田中徳尚氏が、諮問委員全員の了承を得て、2012～2013 年度ガバナー・ノミニーに指名されました。
- ガバナー事務所より、ハイチ大地震緊急支援金の募金結果の報告とお礼が届いております。地区内 32 クラブ(当クラブ含む)、個人、グループ有志各位から 974,711 円の寄付と地区災害援助基金を加え合計 1,500,000 円を 4/5 付けにて、国際ロータリー指定口座に米ドル換価のうえ送金完了したと報告されています。

卓話

瀧田和雄様

本日は「クラブ活性化の手」についてお話をさせていただきます。「クラブ活性化の手」として最も重要なのが、「会長のやる気」です。自分の年度に実行する中期目標を明確に会員に周知して頂き、それに沿ってプログラム委員長が充実したプログラムを作成していきます。



そして、**クラブ管理運営の要は、やはり会員増強です。**会員基盤として1クラブ 30 名以上が望ましいとされますが、当地区は81クラブ中、30%が20名以下のクラブです。過去にクラブ合併について話題に上ったことがあります、そのような時期に来ているのかもしれませんが。

新しい会員のもたらすものは、クラブの活性化です。我々を含め Old Member は、どうしてもフットワークが悪くなり、会員増強についても「もう回りに声をかける人がいない」という状況になります。一

種のマンネリ化ですね。しかし、新会員は活力があり、また新たな周りの人にロータリーの魅力を伝えることができます。新会員は、クラブの本当の意味の宝なのです。



しかし、一方3年から5年未満の退会者の理由が「だれも相手にしてくれない。例会に出席しても得るところがない。ロータリーの何たるかを教えてくれない。」が大半です。以前は、パスト会長が3年委員会で新会員のカウンセラーをしたものです。50名以上のクラブでは、毎月勉強会がありますが、このような勉強会に積極的に新会員を送り込み、皆で勉強会をすることも大切ではないかと思えます。また、お勧めなのは他のクラブへのメークアップです。手軽に他のクラブの良いところを学べますし、視野を広げることもできます。

次に、大切なのは卓話です。例会時間が1時間だと、30分が会長挨拶・幹事報告・委員会報告等で、後の30分は、卓話です。卓話をどのように計画立てて実行していくかが重要です。ただ漠然と「卓話をお願いします。」ではなく何かテーマを決めて「これについてお話をしてほしい」と言った方が良いと思えます。また、新会員が卓話の当番に当たった場合、自分の自己紹介、職業だけでなく、周りの友人・人脈に得意分野のスピーチをお願いするのも有益ではないでしょうか。

※瀧田様より、PPを使った分かりやすいロータリークラブ活性化のお話をいただきました。

米山感謝状授与挨拶

新井会員

この度、米山記念奨学会より、感謝状をいただき、大変嬉しく思っております。これも皆様のご協力の賜と心から厚く御礼申し上げます。



私は2002-03年度地区の米山委員を務めさせて頂きました。その節、大勢の皆様方からご支援、ご協力いただきました。そんな皆様方のご好意に報いようという思いで、関心を深めている次第でございます。これからも、できるかぎりの協力をしていきたいと思えます。ありがとうございました。

会長の時間

栗原会長

米山梅吉は、「ロータリーの例会は人生道場である」と言っております。しかし、私は仕事が一番辛いので(笑)、ロータリーは、何のしがらみも無く、好きなことを言えるホッとする場所です。私はそのようにロータリーと向き合っております。



先日、今年度最後の会長・幹事会が行われました。各クラブの事業報告がありましたが、それはお手元の資料のとおりです。しかし、ロータリーはイベント屋ではありません。地域にとって何が必要な奉仕であり、また事業なのか考えなければなりません。そしてそれを行うことによって、ロータリーとして、どのようなPRができるのかも考える必要があるでしょう。常に、奉仕と寄付を両輪できるよう運営しなければなりません。

5月20日にクラブ協議会がございます。次年度に向けて、是非、会員の皆様とそのへんのところを協議させて頂きたいと思えます。



出席報告・スマイル報告

菅原会員

会員数	出席	欠席	MU	出席率
25	12	13	7	76.00%

瀧田和雄様:本日はクラブ活性化の卓話です。御一緒にクラブ発展のために頑張りましょう。

篠原唯史様:管理運営部門瀧田委員長の卓話におとしました。本日も宜しくお願いします。

栗原会長:瀧田様、篠原様、本日も、会員より早くお越し頂きありがとうございます。今後とも宜しくお願い致します。

新井会員:お客様ようこそ。貴重な卓話ありがとうございました。

小柳会員:お客様ようこそ。ありがとうございます。

矢島会員:お客様ようこそ。

折原会員:渋谷会員:武井会員:中野会員:深瀬会員

細井会員:真中会員:渡辺嘉一会員

ご協力ありがとうございました